

しょうがくせい ちゅうがくせいむ
小学生・中学生向け

だい き すいしんけいかく あん 第2期スポーツ推進計画(案)

いけん ぼしゅう ご意見を募集します

ぼしゅうきかん れいわ ねん がつ にち か
募集期間 令和6年7月23日(火)から

れいわ ねん がつ にち げつ
令和6年9月9日(月)まで

さっぽろし さっぽろ す ひと じぶん のぞ さんか
札幌市では、札幌に住む人だれもが、「自分の望むとおりにスポーツに参加
できる」ことや「みんながスポーツに参加する」ことで、まちのいろいろな課題
かだい
が解決することをめざ あた けいかくあん つく
して、新しいスポーツの計画案を作りました。

みな いけん さんこう けいかく かんが
皆さんの意見を参考にして、よりよい計画にしたいと考えていますので、
このパンフレットをよ き かんが おし
読んで、気づいたことや考えたことを教えてください。

大人の皆さまへ

このパンフレットは、「第2期札幌市スポーツ推進計画」の策定にあたって、子どもたちの意見を
聞くために作成したものです。ぜひ、お子様と一緒に読みいただき、ご意見をお寄せください。

また、大人向けの資料は、スポーツ局や各区役所、札幌市ホームページなどでご覧いただけま
す。

さっぽろし きょく
札幌市スポーツ局

市政等資料番号
01-E01-24-1371

「スポーツ」とは？

スポーツには、すると楽しいだけではなく、心や体が成長できること、体力がつくこと、健康で長生きできることなど、いろいろな効果があります。

また、スポーツは、お互いの違いを認め合ったり、いろいろな人がいるということを理解したりする社会の実現につながります。さらに、スポーツは地域や経済が活性化することにも役立つものです。

この計画では、試合や大会があるような競技だけではなく、健康やたくさんのひととの交流など、いろいろな目的で行われるもので、健康づくりのための散歩やジョギングなどの軽い運動、気晴らしや楽しみのための体を動かすレクリエーションなどもスポーツに含むことにしています。

【こんなものもスポーツ！】

- | | | | | |
|-------|--------|-------|------|--------|
| ★散歩 | ★ラジオ体操 | ★なわとび | ★山登り | ★ハイキング |
| ★そり遊び | ★雪合戦 | ★キャンプ | ★海水浴 | ★釣り |



どうして、新しいスポーツの計画が必要なの？

札幌市では、「みんなが健康で長生きできること」や「だれもがお互いに違いを認め合い、いろいろな人がいるということが、まちの良さにつながっていること」、「みんなが生き生きと生きて、まちに活気があること」などを目指して、いろいろな取組をしていますが、みんながスポーツに参加することで、その目指していることの実現に近づくと考えています。

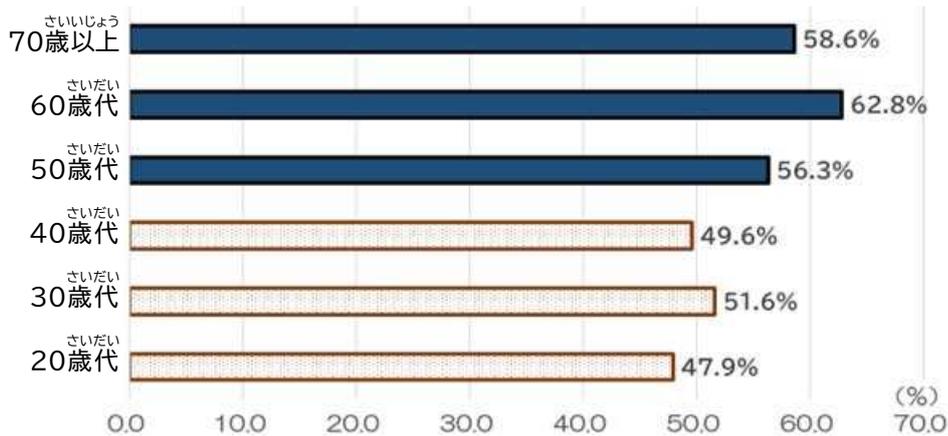
そうしたことから、みんながスポーツに参加できるようにするために、札幌市のスポーツに関する最近の出来事のことも考えながら、スポーツに関するいろいろな取組をまとめた計画を作ることにしました。

計画期間：令和6年度(2024年度)～令和15年度(2033年度)

札幌のスポーツにはどんな課題があるの？

○仕事や子育てがあつて忙しいので、時間がない 20歳代～40歳代の人が、50歳代以上の
人よりもスポーツをできていません。

【令和4年度年代別スポーツ実施率】
(1週間に1回以上スポーツをしている人の割合)



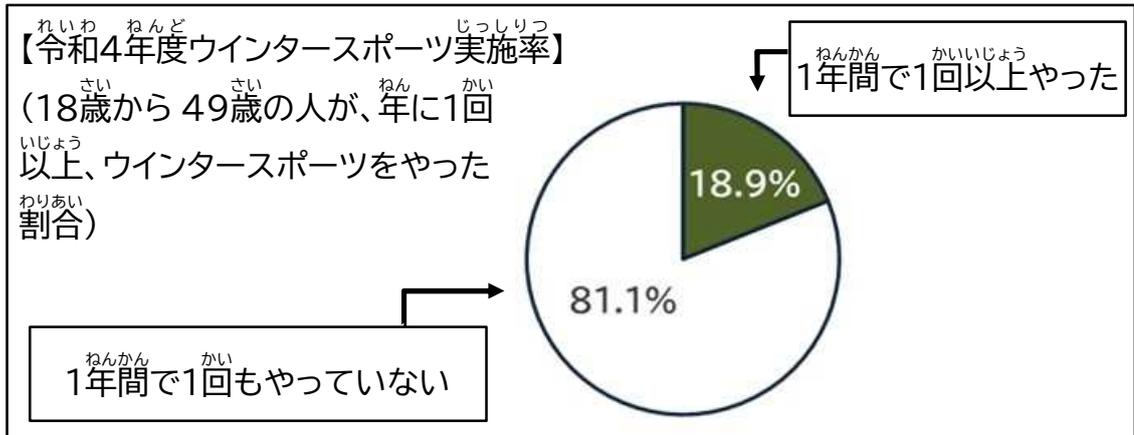
○障がいのある 20歳以上の人のスポーツ実施率(1週間に1回以上スポーツをしている
人の割合)は、日本全体の割合よりは高いですが、なかなか実施率が上がっていきませ
ん。

【障がい者(20歳以上)のスポーツ実施率】
(1週間に1回以上スポーツをしている人の割合)



☆障がいのある人のスポーツ実施率を上げていくためには、
みんながもっと気軽にスポーツができるようになるための取組が必要です。

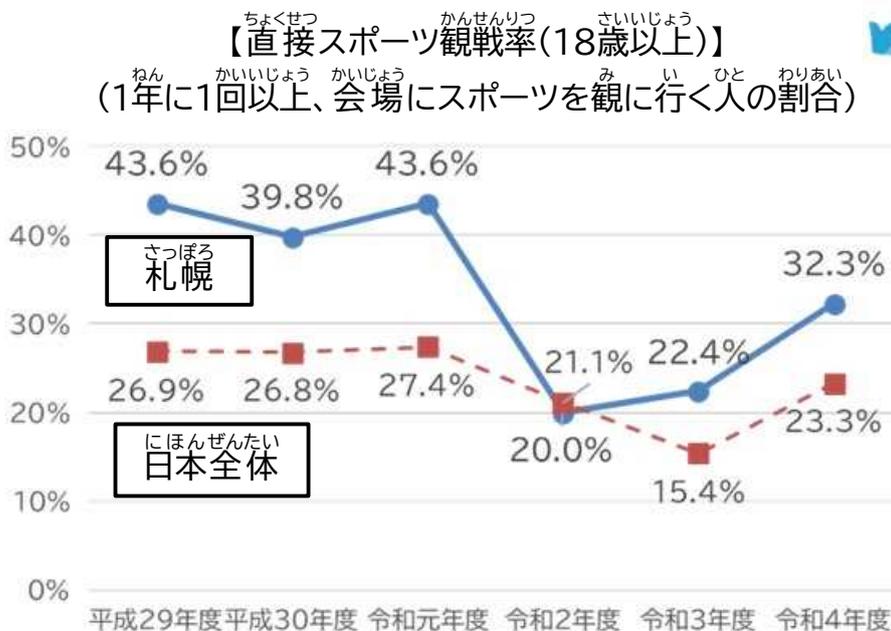
○札幌には、スキーやスノーボード、スケートなど、いろいろなウィンタースポーツができる
 ところがありますが、大人になってもウィンタースポーツを続ける人が少ないです。



○テレビやインターネットではなく、直接、会場にスポーツを観に行く人の割合については、札幌は日本全体よりも高いです。

○ただ、令和2年度と令和3年度は、コロナウイルスの影響で率が大きく下がってしまい、令和4年度もコロナウイルスが流行するよりも前の水準までは戻りませんでした。

☆みんながもっと会場でスポーツを観るようになるための取組も必要です。



☆札幌のまちがにぎやかになるように、スポーツをしたり、みたりするために札幌に来る観光客をもっと増やすことが大切です。

けいかく めざ 計画で目指すこと

きほんりねん 基本理念

※「基本理念」とは、計画のもとになる考え方で、目指すべきまちの姿をあらわしています。

ちから みらい き ひら スポーツの力でまちの未来を切り拓く

きほんりねん たっせい もくひょう 基本理念を達成するための3つの目標

もくひょう 目標1 スポーツを通じて市民が生き生きとくらすまち

市民だれもが、一人一人のやりたいように、気軽にスポーツに参加し、楽しむことで、歳をとっても、心も体も健康で、元気な生活を送れることを目指します。

もくひょう 目標2 ひととひとがスポーツでつながる共生のまち

年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関係なく、市民がいろいろな形でスポーツと一緒に参加することができおり、スポーツを通して関わり合うことで、お互いに相手を理解して、大事にしあえる社会の実現を目指します。

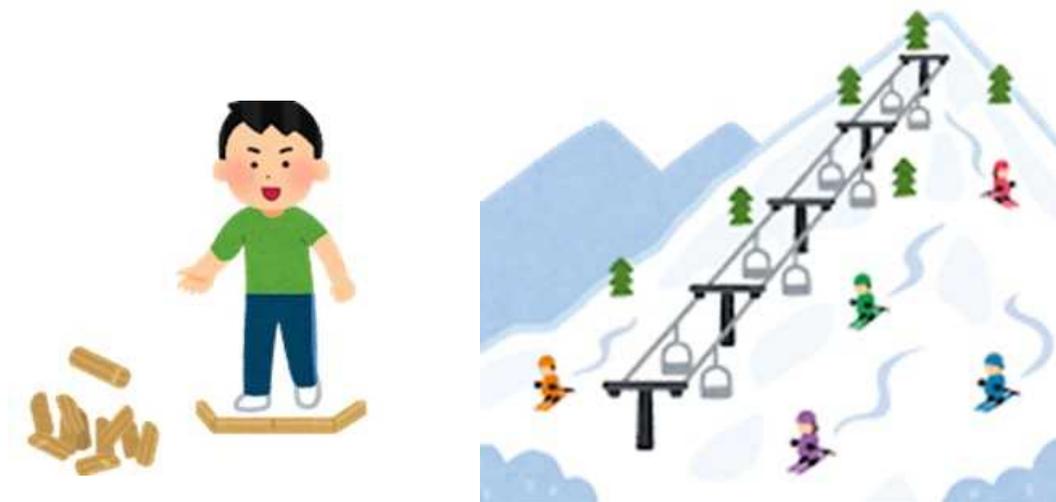
もくひょう 目標3 スポーツによりにぎわいがあふれているまち

いろいろなスポーツ大会が開催されるなど、世界からスポーツ都市として注目されており、国内外からスポーツ目的の人が集まることによって、地域・経済が活性化することをめざします。

もくひょうすうち
目標数値

けいかく め ざ じつげん くたいてき もくひょうすうち さだ
計画で目指すことを実現するために、具体的な目標数値を定めます。

こうもく 項目	ないよう 内容	れいわ ねんど 令和4年度の けっか 結果	れいわ ねんど 令和5年度の もくひょうすうち 目標数値
①スポーツ実施率	しゅう かいじょう 週に1回以上スポーツをしている 20さいじょう ひと わりあい 20歳以上の人の割合	57.0%	70.0%
	しゅう かいじょう 週に1回以上スポーツをしている 20さいじょう しょう ひと わりあい 20歳以上の障がいのある人の割合	53.6%	60.0%
②ウィンタースポーツ実施率	ねん かいじょう 年1回以上ウィンタースポーツをする 18 さい さい ひと わりあい 歳～49歳の人の割合	18.9%	30.0%
③直接スポーツ観戦率	ねん かいじょうかいじょう ちよくせつ 年1回以上会場に直接スポーツを観に行 く さいじょう ひと わりあい 18歳以上の人の割合	32.3%	50.0%
④スポーツ目的の 来札観光客数 (道外・海外)	ほっかいどうがい かいがい 北海道外や海外から、スポーツをしたり、 み さっぽろ き かんこうきゃく 観たりするために札幌に来た観光客の にんずう 人数	236,000人	1,000,000人
⑤スマイル・サポーターズ登録者数	スポーツたいかいなどの手伝いをするスポー ツボランティアの「スマイル・サポーター ズ」に登録している人の数	1,070人	2,000人
⑥強化指定選手に 選出されるアスリ ートの育成数	スポーツの世界大会などで活躍が期待で きる「強化指定選手」に選ばれる運動選手 の 数	12人(延べ)	50人(延べ)



けいかく と く 計画で取り組むこと

① 子ども、仕事や子育て中の大人、お年寄りなど、だれもがスポーツに参加できる機会をつくりま

おも とりくみ 主な取組

- 冬に子どもが運動する機会を増やすための取組
- 児童会館「ふり→たいむ」(中学生・高校生の夜間利用)
- 子育て中の人々がスポーツをしやすくなる取組(親子向け教室など)
- 冬の屋外スポーツ施設などでのスノーラフティングなどの雪遊びの機会の提供



② みんなが自分の目的などに合わせてスポーツに取り組める場所や機会を充実させま

おも とりくみ 主な取組

- スポーツ施設の計画的な改修
計画的に、施設を直したり、備品を更新したりします。
- 学校施設開放
- 札幌ドームでの新しいイベントの実施
スポーツをはじめるきっかけになるような新しいイベントを行います。

③ 札幌から、世界で活躍するスポーツ選手を出すための取組を行います

おも とりくみ 主な取組

- スポーツ選手の発掘・育成
普段からスポーツ選手の指導を受けられるようにしたり、海外合宿などを行って、世界で活躍するスポーツ選手を育てます。
- オリンピック選手などの部活動や少年団への派遣

④ 障がい者のスポーツを推進します

主な取組

- 障がい者スポーツ体験会の実施
いろいろな種目の障がい者スポーツの体験会を実施します。
- 障がい者スポーツセンターの設置の検討
障がい者スポーツをもっと広げていくために、障がい者スポーツセンターの設置を検討します。



⑤ スポーツを通じたいろいろな交流の機会を作ります

主な取組

- スポーツの国際大会に合わせた国際交流の実施
国際大会を開催する時に、海外の選手と交流する機会を作ります。
- スポーツボランティアの活動や研修
スポーツ大会の手伝いなどを行うスポーツボランティアの活動や研修の機会を作ります。



⑥ スポーツをみる機会を充実させます

主な取組

- プロスポーツチームと協力したスポーツ観戦のきっかけづくりなどの取組
プロスポーツチームと協力して、スポーツをみる機会を増やしたり、スポーツをみるきっかけになるイベントなどを行います。
- スポーツ大会への親子の無料招待



⑦スポーツを通じて、地域や経済を活性化します

主な取組

●国際大会の開催

ウインタースポーツなどの国際大会を開催します。

●アクションスポーツなどの新しいスポーツの大会・イベントの開催

アクションスポーツとは、スケートボードやブレイキンなどの新しいスポーツで、若い人にとっても人気があります。



⑧だれもが気軽にウインタースポーツを楽しむことができるための取組を行います

主な取組

●ウインタースポーツ塾の開催

小学生を対象として、いろいろなウインタースポーツを体験できる機会を作ります。

●カーリングの体験機会の提供

どうぎんカーリングスタジアムで、体験教室などを行います。

●ウインタースポーツの利用料金の助成

市内の小学生を対象に、スキーのリフト料金を助成

します。また、市内の小学生と中学生を対象に、スケート場の貸靴料金を助成します。

そのほかにも、市内の小学校入学前の子どもとその親を対象に、スキー用具のレンタル料金を助成します。

●学校でのオリンピック・パラリンピック選手との体験活動など



だい き さつ ぽろ し すい しん けい か く あん い け ん き に ゆ う よ う し
第2期札幌市スポーツ推進計画(案)ご意見記入用紙

<お名前> ※お名前は書かなくてもかまいません <学年>

年

「何ページ」の「何について」というように、できるだけ具体的に書いてください。

書くところが足りないときは、べつのかみ紙に書いてください

ご意見

れい わ ねん が つ に ち げ つ か な ら と ど
令和6年9月9日(月)までに必ず届くように、
さ つ ぽ ろ し こ う し き し た ゆ あ り え る い け ん う け つ け ゆ う び ん
札幌市公式ホームページ(下のホームページURLの意見受付フォーム)、郵便、
ファックス、電子メールなどによりお送りください。(電話による受付は行っていません)

【提出先・問い合わせ先】

さ つ ぽ ろ し き ゃ く が き か く じ ぎ よ う か
札幌市 スポーツ局 スポーツ部 企画事業課

〒060-0002 さ つ ぽ ろ し ち ゅ う ぐ ー ち ゅ う 2 じ ょ う に し ち ゅ う め ぼ ん ち お あ り え る い さ つ ぽ ろ か い
〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地7 O R E 札幌ビル9階

で ん ね
電話:011-211-3044 FAX:011-211-3046

メールアドレス:sports-kikaku@city.sapporo.jp

ホームページ: <https://www.city.sapporo.jp/sports/vision/index/dai2kikeikaku.html>